

受賞者のご紹介 (敬称略)

奨励賞 有限会社 エー・アイ・エス

平成3年からスパイクタイヤの規制が法制化され、旭川市でも平成16年においてスタッドレスタイヤの装着率が98%を越えている。

新品タイヤの早期効果発現や経年時のグリップ性能を回復・維持させられることはタイヤを効果的に使い切るという観点で経済性とんだ支援装置である。

「けんま君」の研磨方法は平成15年12月25日に「タイヤの外周研磨装置」として特許出願し審査中である。

当該製品の性能、効果および活用方法がタイヤユーザーに適切に浸透することにより、今後大きな市場を獲得できるものと期待している。



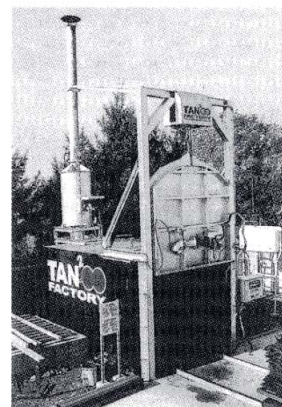
開発担当 松井 隆

旭川市緑が丘東1条3丁目1番6号

奨励賞 株式会社 中里建設

当社は、ゴミとして処理する場合のコスト削減や資源として有効利用するゼロミッションの考えから、型枠廃材活用事業をすすめている。

型枠廃材（使用済コンパネ等）を活性炭化するため専用機械を開発し、融雪剤、土壌改良剤、消臭剤、床下調湿剤、水質浄化剤など商品化について具体的な検討に入っている。焼却処分の場合に発生する焼却灰が公害要因になるのに対して、リサイクルすることにより環境面での効果も大きい。自社で出た廃材を自社で処理（有効利用）することで産業廃棄物処理機関への負担を軽減できると共に地域循環型の再生利用（ゼロミッション）を目指し、地球温暖化要因を低減させて地域の自然環境を守る効果も挙げられる。



開発担当 長谷川 大

旭川市東鷹栖東1条5丁目637番地の59

審査委員長賞 美瑛カレーうどん研究会

当研究会は地元有志15名が集まって美瑛農産物の消費拡大と地元の経済発展を目的に発足させた。

町主催の講演会からの提案をもとに、短期間のうちに「カレーうどん」を広めた実績はすばらしく、美瑛産100%の小麦を使用することで、農業と商業のマッチングを実現した。

今後の観光産業振興にも大きな役割をになっている。様々な業種の方・一般の消費者がこの小麦を利用するようになり、町全体が「地産地消」の運動につながり、地域おこし・地域活性化に貢献している。



会長 西森和広

上川郡美瑛町本町4丁目